

---

◎町長行政報告

○議長（藤井 要君） 日程第4、町長の行政報告を行います。

町長から報告の申し出がありますので、これを許します。

（町長 長嶋精一君 登壇）

○町長（長嶋精一君） 令和2年松崎町議会第1回定例会の開会にあたり、謹んで行政報告を申し上げます。

まず始めに、お詫びを申し上げなければなりません。健康福祉課において、職員が母子家庭医療費の支給事務を怠り、受給者の皆様に大変なご迷惑をおかけするという事態が発生いたしました。町政に対する町民の皆様のご信頼を損なう事態となり深くお詫びを申し上げます。なお、報道では職員による暴言があったとされておりますが、その点については確認中ではありますが、事実であれば、厳正に対処してまいります。職員一同綱紀を粛正し、信頼回復に努めてまいります所存でございます。

さて、3月になり、ソメイヨシノの開花が待ち遠しくなっておりますが、新型コロナウイルスが猛威を振るっております。全国の観光地では、中国人を中心としたインバウンド観光客の激減、中国の工場閉鎖による製造業への影響など健康面だけでなく、経済面にも大きな影響が危惧されております。次に、当町における話題といたしましては、川勝知事が、駿河湾フェリーの松崎新港への就航に関心を寄せているとの報道がありましたので今後の進展に期待が持たれます。

8月の大型客船飛鳥Ⅱの寄港とともに、今年は松崎新港にとってのターニングポイントとなることを期待しております。本日は、「町営観光施設の入館状況について」他1件についてご報告いたします。詳細は担当課長より申し上げます。

○企画観光課長（高橋良延君） それでは企画観光課から、1件の行政報告をさせていただきます。町営観光施設の入館状況について資料ナンバー1をお願いいたします。

まず1ページのほうをお願いいたします。初めに、伊豆まつぎ荘でございます。右側の1月までの累計の比較で御説明をいたします。宿泊利用人員につきましては、211人減。1万6,732人となっております。また入浴、休憩利用人員を加えました利用者数は、118人増の2万6,830人となっております。続いて収益につきましては、前年度より129万円減少いたしまして、2億4,889万円となっております。また、一方費用でございます。公債費、減価償却費を案分して加えた事業費用につきましては、前年度より336万9,000円ほど増

加いたしまして、2億5,655万5,000円となっております。差引利益につきましては、766万5,000円のマイナスとなり、前年度より465万9,000円の利益減となっているところでございます。

続きまして2ページをお願いいたします。初めに、伊豆の長八美術館でございます。1月までの累計といたしましては2,997人減。1万7,000人の利用者でございます。収支差額につきましてはマイナスの937万9,000円。前年度に比べ190万4,000円ほどのマイナスとなっている状況でございます。

続きまして、重要文化財岩科学校でございます。1月までで、2,409人減、1万776人の利用者でございます。収支差額につきましてはマイナス770万7,000円で前年度に比べ150万7,000円ほどのマイナスということの状況でございます。

続いて3ページをお願いいたします。明治商家中瀬邸でございます。1月末までで1,311人減。8,338人の利用でございます。収支差額についてはマイナス533万2,000円でございますが、前年度に比べ、55万5,000円ほどの利益としては少しながら改善したというようなことでございます。

続いて民芸館でございます。民芸館については1月までで12人減、4,938人でございます。収支差額についてはマイナスの360万5,000円、前年度に比べ38万3,000円ほどのマイナスとなっている状況でございます。

続いて4ページをお願いいたします。道の駅花の三聖苑でございます。こちらは1月末までの状況で利用者が460人減、3万6,022人でございます。収支差額につきましてはマイナスの899万8,000円となっております。前年度より83万5,000円ほどマイナスとなっている状況でございます。

総括いたしますと、1月末までの累計では全ての施設において利用者においては減となっており、非常に厳しい状況が続いております。伊豆まつぎ荘 においては、昨年9月から10月、含めて台風の相次ぐ接近上陸によりまして、351名のキャンセルなどもあり大きく影響いたしましたところでございます。また新型コロナウイルスによる感染拡大によりまして、宿泊のキャンセルですとか、春に予定されていた松崎町内のツアーがキャンセルされるなど、観光面での影響も出てきております。

今後も観光誘客に町内の観光関係団体はもとより伊豆7市6町で組織する美しい伊豆創造センターという組織もございます。こちらとも連携して、観光誘客にさらに取り組んでまいりたいと考えております。

以上、町営観光施設の入館状況についての報告とさせていただきます。

○生活環境課長（鈴木 悟君） それでは、生活環境課から行政報告の2番目、公営企業会計令和2年1月末経営状況について報告をさせていただきます。資料ナンバー2をお願いいたします。初めに水道事業会計のほうでございます。本年度1月末収益につきましては、営業収益、営業外収益を合わせまして、①になりますが、1億865万4,000円、前年対比98万6,000円0.9%の増となっております。1月末現在の有収水量につきましては、70万4,099立米で、一般営業用などの減少により、前年対比2,707立米、0.4%の減となりました。また、予定収益を入れた事業収益の合計は、④になりますが、超過料金の増加により、1億1,858万4,000円、前年対比80万5,000円。0.7%の増となっております。一方、費用のほうでございます。営業費用に予定費を加えた合計は、⑦になりますが、1億654万8,000円、前年対比281万7,000円、2.6%の減となっております。その結果、差し引き純利益につきましては、1,203万6,000円、前年対比362万2,000円、43.0%の増となりました。

続きまして温泉事業会計でございます。初めに収益のほうでございます。営業収益、営業外収益合わせまして①になりますが、4,950万9,000円、前年対比132万7,000円、2.8%の増となっております。昨年同期と比べ、権利放棄により自家用が1件減少したものの、南郷鮎川地区への、伊豆縦貫道残土埋め立てにより、3号源泉ポンプ室取り壊しに伴い、国から補償費用が、雑収入として入ってきたため、133万9,000円、前年対比2.8%の増となりました。予定収益を加えた事業収益の合計は、④になりますが、5,134万円、前年対比131万9,000円、2.6%の増となっております。一方費用のほうでございます。営業費用に予定費を加えた合計は、⑦になりますが、4,315万7,000円、前年対比54万6,000円、1.3%の増となっております。その結果差し引き純利益につきましては、818万3,000円。前年対比77万3,000円、10.4%の増となりました。

水道事業会計、温泉事業会計ともに、使用水量、供給戸数の減少が続いているところがございます。水道事業については、収益確保の方策を模索し、温泉事業については、収益確保のため、引き続き、新規加入の促進を図っていきたいと考えております。

以上、1月末公営企業会計の状況についての報告とさせていただきます。

○議長（藤井 要君） 以上で町長の行政報告を終わります。